

京都教育大学フォーラム 2016

京都発：日本型メンターによる 新しい教師力の涵養



教員の資質・能力の高度化に向けて、その要となる概念が「理論と実践の往還」である。これは、「経験からの学び」「自分からの学び」によって実現するもので、このような学びを支える存在としてメンターがある。日本の教育文化である集団主義、経験主義の中で機能するメンターのすがたを探り、「日本型のメンターによる新しい教師力の涵養」について提案する。

対象者：学校教員、教育委員会関係者、教員養成系大学・学部関係者、学生

日時

2016年 **12月10日(土)**

13:30~16:30 (受付/13:00~)

場所

京都教育大学 F棟大講義室2

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地

主催：京都教育大学

後援：京都府教育委員会・京都市教育委員会

プログラム

13:30 ● 開会あいさつ

細川 友秀 (京都教育大学長)

13:40 ● 講演

「教師の学びを支えるメンタリング -教師大量採用時代の若手教師支援のあり方-」

脇本 健弘 横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター講師

14:30 ● パネリスト討論趣旨発表

松原 雅俊 横浜市教育委員会教職員人事部教職員育成課長

松木 健一 福井大学大学院教育学研究科教職開発専攻教授

村上 忠幸 京都教育大学教育学部教授

..... 15:20 休憩

15:30 ● パネルディスカッション

16:25 ● 閉会あいさつ

岩村 伸一 京都教育大学理事・副学長(総務・企画担当)

16:30 ● 閉会

司会進行：石川 誠 (京都教育大学教育学部教授)

お問い合わせ

京都教育大学研究協力・附属学校支援課 研究協力・センター機構支援グループ
 TEL/075-644-8793 e-mail/kenshien@kyokyo-u.ac.jp

参加の申込みにつきましては、裏面をご参照ください。